

日本を福祉先進国に創り・変えるために
—社会保障改革に関する集中検討会議への提言—

2011年4月27日

小川 泰子

1. 3.11大震災後の日本を創り・変えるために

1) 震災後の市町村のグランドデザインを日本の福祉モデルに

- (1) ユニバーサルデザインの道路・交通整備を
—福祉先進国の道路と公共交通モデルを創る
- (2) 「施設」ではなく「住宅」を整備する。
—整備基準の抜本的改革を—
- (3) 多世代・多文化共生で人を「つなぐ」街づくり
—一次世代の命を育て・繋ぐための人づくり—

2) 生活支援の総合化 —ワンストップとパーソナルサポートの徹底—

- (1) 市町村の縦割り福祉行政からの脱皮
生き方支援は総合的視界でムリとムダを解消
- (2) ソーシャルワークの分断を無くす
総合化することで利用者本位を実現する
- (3) 医療・介護の総合化
 - ・ 介護人材育成の教育課程の創り変え
 - ・ 医療・介護の報酬を見直し財源のムダを無くす
 - ・ 医療・福祉制度の大改革(法人のあり方・中間組織の見直し)
 - ・ 就労後のスキルアップのフォロー制度とカウンセリング
- (4) 成年後見制度の見直しで尊厳を支える社会保障の仕組みを

2. 福祉先進国の街づくりで21世紀型の公・共を創る

- 1) 「法人」の在り方、その社会的役割、負担のあり方を見直す。
- 2) 福祉先進国の街づくりは「民」主導で取り組む
- 3) 3.11後の日本の行政、政治に創り変える大胆な改革を急ぐ

3. 国民は参加と責任を果たす覚悟は出来ている

しかし、条件は20世紀型ムリ・ムダを刷新することです。

- 1) 納得出来る日本の将来ビジョンを分かりやすく示し、合意を得る。
- 2) それに伴う21世紀社会構造大改革、それがこの会議の基礎です。